

5. 蛇行する河川への復元

過去に直線化された河川について、可能な限り蛇行した河川への復元を図るべきである。

施策の背景

目的

釧路川における本支川の河川改修は、流域の土地利用を促進するため、地下水位低下、洪水氾濫防御を目的に、蛇行した河道の直線化を行ってきた。平地の湿原河道は流れの力によって長期間かけて蛇行を形成している。その蛇行河道は湿原生態系の中で特有の貴重な自然環境・景観を構成している。

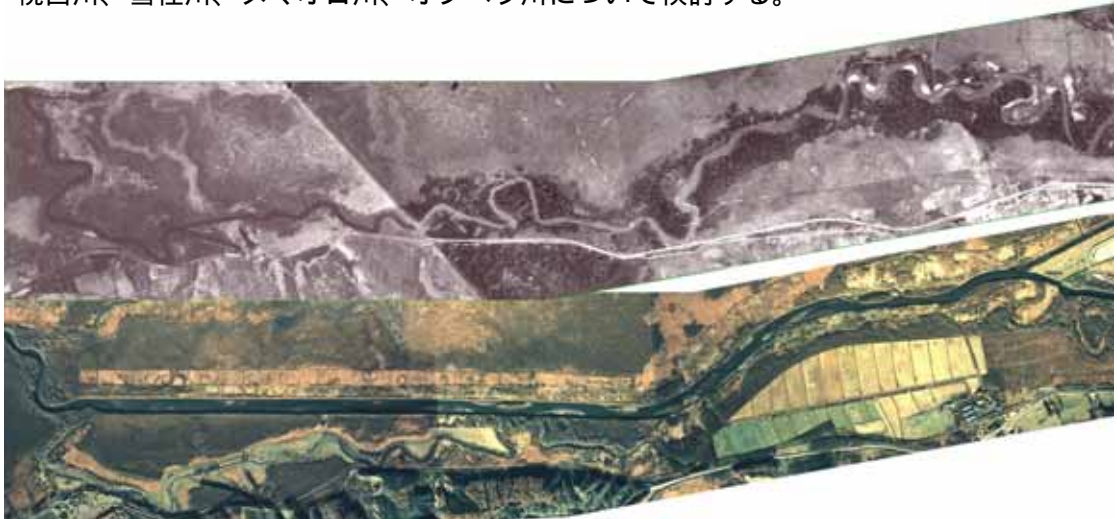
今後は「湿原本来の河川環境」、「湿原本来の河川景観」の保全・回復、及び「湿原への土砂流入」の防止のための取り組みとして蛇行河川復元を図るべきである。

旧川復元の意義

1. 蛇行することにより湿原本来の生息環境復元（湿原特有の魚類等）
2. 湿原景観の回復
3. 河川水位・地下水位の上昇及び氾濫を許容させることで湿原植生を再生
4. 掃流力の減少による湿原内への土砂流入の防止

復元河川

蛇行河道への復元は、周辺の土地利用を勘案し、旧河道が比較的残っている釧路川本川茅沼地区、幌呂川、雪裡川、ヌマオロ川、オソベツ川について検討する。



茅沼地区の変遷(上段:S22年、下段:平成8年)



旧河道に復元することで得られる効果